

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
平川市	平賀⑩ (尾崎)	令和2年9月	令和4年11月

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	304.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	187.7ha
i うち50才以上で後継者が決まっている農業者の農地の合計	56.3ha
ii うち50才以上で後継者が未定の農業者の農地面積の合計	86.9ha
iii うち50才未満の農業者の農地面積	44.5ha
③地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.4ha
(備考)	

2 対象地区の課題

- ・りんごは稲作に比べ後継者はいるが、山手の農地については現在の農業者がリタイアしたら、次に耕作する人はいない。
- ・稲作は生産組合に作業をお願いしている人が、80歳代で高齢化が顕著である。
- ・野菜(ミニトマト)は若手が多く経営している。
- ・大規模農家の経営面積が限界にきているため。集約が難しい。
- ・圃場の区画が小さく、貸借の条件に合わない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・大規模農家と生産組合に分けて、集約していく。
- ・若手農家を中心とした高収益作物への取組拡大を進める。